

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		星とたんぼ (児童発達支援)		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・遊びの部屋で、コミュニケーションのねらいでは1対1でついて、他に職員も入っていていいと思う。	・子ども達の般化を考えた時に、色々な職員に慣れるよう、できるだけ職員を多めに配置する。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・コンサル時のアドバイスや日頃の話合いからよりわかりやすい環境になっていると思う。	・アドバイスを受けた構造化については、すぐに対応できるように改善している。今後もすぐ対応を心掛けたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・子どもに応じて、棚の位置を変えたり、台を置いてワークシステムのやり方を変えていると思う。	・必要に応じて「個別エリア」や「カームダウンエリア」を設けている。今後も必要に応じて、で良いと思っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	・毎日の朝礼、反省会、子どもたちそれぞれに対する話し合いができて、共有できていると思う。	・毎日全員でPDCAサイクルの取り組みに参加している。今後も継続。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		・保護者からの意見を大切に、改善に努めている。ご意見ボックスを定期的に確認する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		・一年に一度の、このアンケートだけではなく、日ごろの反省会や会議で出た意見について、すぐに改善に努めている。今後も同様。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				・第三者による外部評価は行っていない。今後検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0		・研修の機会は、とても多く、全員が学べる環境にある。経費はかかるが大切なことなので今後も続けていきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		・ホームページに掲載している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・12~13 担当1人だけではなく、チームとして評価したり、話し合っているところが多いと思う。	・担当のみでなく、色々な支援者が評価、支援する中で気づきや意見などを支援計画に入れている。今後も一人で抱え込まないことが大切と考える。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		・同上	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・朝礼や反省会で「支援計画のどこがねらいなのか」まで話し合いができる場所が多いと思う。	・課題取り組みシートに個別支援計画の内容を入れ込み、他の人がいつでも見て、支援できる体制を作っている。今後も同様。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・所内研修の発表の時などにも出されていて勉強になる。個人的には、もっと活用していきたいと思っている。冰山モデルでは考えられていると思う。	・冰山モデル、行動分析(ABC分析)等々フォーマルなシートも使いながら、子ども達の理解に努めている。評価については今後も学びを続けたい。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		・個別支援計画作成時に、一人ひとり考えて設定している。今後も一人一人に合った支援計画を考えていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・いろんな支援者で見て、話し合いができています。	・今後も一人で考えない、チームで考える姿勢を大切にしていきたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・スケジュール、TWの場所は毎回変えている。	・発達障害の子もたちなので、特に、毎回違う事をするようにしている。(こだわりやパターンのため)同じことなら楽ではあるが、今後も特性を考え、毎回違う事を考えていきたい。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答)	/	/		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	/	/		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	9	0	・児童センターとの連携はないが、必要に応じて他機関との連携および、コンサルテーションは行っている。	・コンサルテーションに3回入っていただき、専門的なアドバイスをもらっている。また、各種勉強会、実践研修にも参加し、個々のスキルアップに努めている。これからも、学びはずっと続けていきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	/	/		・90%以上の子ども達が、園に通っており、それは必要がないと思っている。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				9	0
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0		・年3回の親の会を開催し、勉強会、グループディスカッション、先輩の保護者から話を聴こう！等を企画、実践している。これからも続ける。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		・一人ひとりに1時間以上かけ、丁寧に説明をしています。これからも、わかりやすい説明、質問にはその場で答えるようにしていきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		・保護者からの聞き取り、情報シート等を参考に、意向をできるだけ踏まえて立案している。今後も同様。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	・きょうだい児の会は、今後の課題。きょうだい支援についての研修会（講演会）は開催あり。	・兄弟児が交流を持つ機会はないが、「兄弟児支援」の研修は開催した。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・カギ付きの書棚に保管している。	・必ず鍵付きの書棚に保管している。どんどんしよっ類は増えるが鍵付きの書棚を増やして対応したい。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・紙に書きながら伝えたり、実際に使ったツールを見てもらいながら説明している。	・その保護者により、伝え方を変えている。子どもも違えば、家族も一人ひとり違う事を頭に入れて。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0		・夏祭り、敬老の日、等行事ごとに交流を持った。今後も地域との関わりは大切にしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		・ヒヤリハットは、その日に必ず、反省会であげ、共有し、対応はすぐしている。今後も続けていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		・必ず年に3回は研修を行っている。来年度の計画にも入れている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		・同上